

2026年度 神戸薬科大学
地域医療多職種連携に積極的に関わる薬剤師養成プログラム
～地域医療多職種連携の裏側、全部見せます～

－受講者募集要項－

【目的】

医療の高度化、患者の高齢化の進展とともに、我が国の医療環境は大きく変貌し、地域包括ケアシステムに基づく患者居宅を中心とする住み慣れた地域における医療提供の重要性がますます高まっています。薬剤師も他職種と連携・協働し、地域医療を担う医療チームの一員として専門性を発揮することが強く求められています。そこで、神戸薬科大学エクステンションセンターでは生涯研修支援事業の一環として、専門知識や技術に加えて地域医療における多職種連携に積極的に関わる能力をそなえた薬剤師を養成するためのプログラム『地域医療多職種連携に積極的に関わる薬剤師養成プログラム』の受講者を募集します。

なお、幅広く多くの薬剤師の方に受講していただく事を目的として、以前の『「在宅医療」を支援する指導薬剤師養成プログラム』から名称を変更しました。

【募集人数】 5名程度

【実施期間】 2026年6月～2027年6月

【受講資格】

1. 現在、病院あるいは薬局に勤務されている現役の薬剤師の方
2. 臨床能力育成プログラムに積極的に参加できる方
3. 勤務先からプログラム受講の内諾を得られる方

※ご質問は【お問い合わせ先】までお願いします。



履歴書フォームは

こちらから



【申込方法と受付期間】

＜申込方法＞ 本センターホームページ掲載の履歴書フォーム(Excel)に必要事項を入力の上、メール又は郵送で提出してください。
市販の履歴書を使用する場合は、以下の項目を記載するようにしてください。

●住所、氏名、生年月日、連絡先(電話、メールアドレス)、学歴、職歴、所属(勤務先)、写真貼付(縦4cm×横3cm)

●在宅に関する経験年数(例:2年、未経験等)、このプログラムを志望した動機

＜受付期間＞ 2026年4月1日(水)～2026年6月8日(月)必着

【選考方法】 上記書類選考の上、決定します。

【受講料】 30,000円

※以下に示す、生涯研修スキルアッププログラム対象講座受講料及び臨床能力育成プログラム(他職種理解のための研修、医療・介護・福祉現場での研修)費用を含みます。

※医療・介護・福祉現場での研修について、別途ご自身での保険(普通傷害保険)加入が必要です。推奨保険を案内します。

※医療現場での研修、研修会への参加に係る交通費等は自己負担となります。

【お問い合わせ先・申込書類提出先】

神戸薬科大学エクステンションセンター

〒658-8558 神戸市東灘区本山北町 4-19-1

T E L : 078-441-7627(直通)

E-mail : extc@kobepharmaceutical-u.ac.jp

U R L : <https://www.kobepharmaceutical-u.ac.jp/extension/>



【受講内容】

1. 生涯研修スキルアッププログラム

2026年度 神戸薬科大学エクステンションセンター生涯研修支援プログラムのうち、次の講座を受講していただきます。

開催日・時間・場所	講座名	単位数
2026年6月21日(日) 10:00~13:10 本学注射剤調製室(G棟5階)	第71回薬剤師実践塾 注射剤の無菌調製のテクニックとセンスを 習得しよう!	1.5
2026年8月2日(日) 10:00~12:30 Zoom	第23回症例検討会 SGD(スモール・グループ・ディスカッション)による 症例検討	1.5
2026年11月3日(火・祝) 10:00~12:30 地域連携サテライトセンター	第72回薬剤師実践塾 MCIの早期発見、早期介入をするために ~多職種連携を踏まえて薬剤師ができること~	1.5
2027年2月7日(日) 10:00~12:30 地域連携サテライトセンター	第24回症例検討会 SGD(スモール・グループ・ディスカッション)による 症例検討	1.5
2027年3月7日(日) 10:00~13:10 地域連携サテライトセンター	第73回薬剤師実践塾 心不全フォローアップシート活用術 ~再入院を防ぐヒントは“入院前の増悪兆候の記憶”にある?~	1.5

※開催日の概ね1~2ヶ月前から受付を開始しますので、各自必ず申し込んでください。
本プログラムの受講料に含まれておりますので、各講座受講料のお振込は不要です。

2. 臨床能力育成プログラム

① 他職種理解のための研修(11月頃を予定)

在宅医療や地域包括ケアシステムに關与する薬剤師以外の職種に対する理解を深めるための研修動画の視聴。

➡<提出物>研修動画視聴レポート(様式あり)

② 医療・介護・福祉現場(介護老人保健施設、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等)での研修(在宅患者宅への訪問同行や他職種の業務研修等)。

必ず、勤務先の了解を得て受講してください。

※②は本学と連携協定を締結している地域包括ケアシステムにおける多職種連携を推進する特定非営利活動法人 エナガの会の協力を得て、神戸市垂水区を中心に実施します。

実施日は、受講者と受入施設の希望日程を調整の上決定します。

➡ 11月~4月の間に、半日×3施設で実施(時期、施設数は変更する場合があります)

➡<提出物>実習レポート(様式あり) ※各施設研修後1週間程度で提出

3. 修了レポートの提出

課題は自由(在宅における問題点、実際の症例、薬剤師としてどのように関わるべきか等)。

➡<提出物>修了レポート(A4用紙1枚以上)

4. 報告会での発表(2027年6月頃にオンラインで実施予定)

1名につき10分(発表5分、質疑応答5分)のパワーポイントによるプレゼンテーションを実施。

➡<提出物>報告会発表用スライド原稿 ※事前に提出

➡「実習レポート」「修了レポート」「報告会発表用スライド原稿」の3点を合わせて、本センターが報告書(冊子体)を作成。

上記1~4のプログラムを修了した受講者には
修了証書を交付します